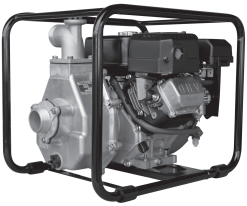
TERADA

取扱説明書

テラダセルプラエンジンポンプ
ER-51GB/ER-81GB/EMH-40GB/EMH-50GB

ER-51GB



EMH-50GB

もくじ

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～2
各部の名前とその働き・・・・・・・・・・・・ 3
付属品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
お使いになる前に・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～6
運転のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
お手入れと点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
修理を依頼する前に・・・・・・・・・・・・・・ 7～8
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
構造図と部品名称・・・・・・・・・・・・・・・・ 9～10
営業所一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

●このたびは、テラダセルプラエンジンポンプをお買い上げいただきましてありがとうございます。
●この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
●お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意　誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

	△ 記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が記入されています。
	⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が記入されています。
	● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は一般的な強制事項）が記入されています。

⚠ 警告	
	●エンジンの運転中や停止後すぐの熱い間は、燃料タンクの蓋を外したり、燃料の補給をしないこと 火災の原因になります。
	●火の近くや、燃えやすいものの近くで使用しないこと 火災の原因になります。
	●修理技術者以外の人は分解したり修理や改造をしないこと 異常動作をしてケガの原因になります。
	●換気の悪いところでは使用しないこと 排気ガスには有害な成分が含まれており、ガス中毒の原因になります。

⚠ 警告

●掃除や点検をするときは、エンジンを止めること

運転中の掃除や点検は、やけどやケガの原因になります。

●動かなくなったり、異常がある場合はエンジンを止めてお買い上げの販売店に連絡すること

そのまま無理に使用すると、火災や水漏れの原因になります。

●エンジンの取り扱いや操作は、エンジンの取扱説明書をよく読むこと

誤った取り扱いや操作をすると、ケガ・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意

●不安定なところに設置しないこと

ケガや故障の原因になります。水平で安定した場所に固定してください。

●40℃以上のお湯、ガソリン、灯油、油、化学薬品には使用禁止

故障の原因になります。

●熱くなっているマフラーや各部に触れないこと

やけどの原因になります。

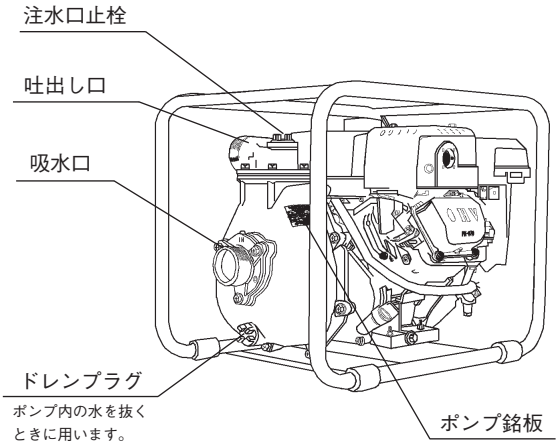
●運搬時は燃料を抜くこと

燃料がもれて、火災の原因になります。

●ホースはしっかりと固定すること

運転中にホースが動き、ケガや事故の原因になります。

各部の名前とその働き



付属品

ホースカップリング	／2組
ストレーナ	／1
エンジン分解工具 (点火プラグ取外し用工具)	／1組
エンジン取扱説明書	／1
ポンプ取扱説明書	／1

お使いになる前に

標準仕様

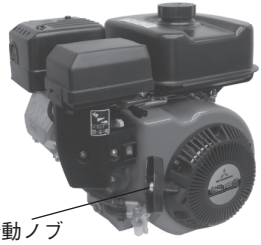
⚠注意　水以外の液体には使用しないでください。

形　式	取　扱　液	
	液　温	液　質
ER-51GB	0～40℃(凍結のないこと)	清水、汚水
ER-81GB		
EMH-40GB		
EMH-50GB		

●寒冷地でご使用されるときは、凍結にご注意ください。
●スラリー・土砂等の異物を含んだ水はポンプ寿命をいちじるしく縮めますので、ご注意ください。
●本エンジンは防水仕様となっておりませんので、雨水や水分の付着・浸入（高湿条件下）により錆・故障が発生する場合がありますのでご注意ください。
●本エンジンは防塵仕様となっておりませんので、エンジン内部に侵入した塵・ダストにより各部品の摩耗の促進や故障等が発生する場合がありますのでご注意ください。

確認

1. ご注文通りのものかどうか銘板を見てご確認ください。
2. 破損箇所やねじのゆるみがないかご確認ください。
3. リコイルスタータの始動ノブをゆっくり引き、軽く回るかご確認ください。
   ●始動ノブはゆっくり引いていくと重くなるところがあります。さらに引くと軽くなります。
   それから始動ノブをゆっくり戻します。

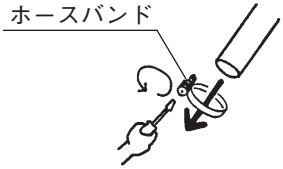


据え付け

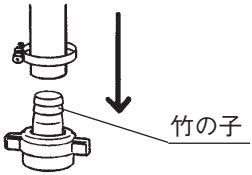
●40℃以下で風通しがよく、雨のかからない場所に設置してください。
●据え付け位置はできるだけ吸水源に近く、低くしてください。吸水面から吸水口の中心までの高さは、５m以内にしてください。
●水平で安定した場所に、振動などで動かないように固定してください。
●保守点検に便利な場所に設置してください。
●吸込用ホースはサクションホースを使用してください。

ホースカップリングの取り付けかた

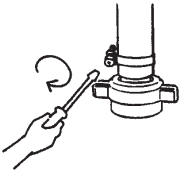
1 ホースバンドのねじをゆるめ、ホースに差し込んでください。



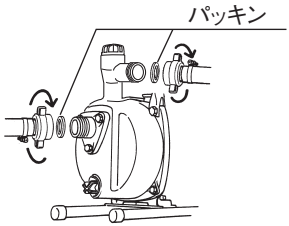
2 ホースカップリング用竹の子にホースカップリングを通しホースを差し込んでください。ホースは竹の子の根元までしっかりと差し込んでください。



3 ホースバンドでホースを締め付けてください。

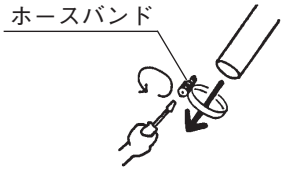


4 パッキンをホースカップリングに入れて、吐出し口、吸水口にねじ込んでください。

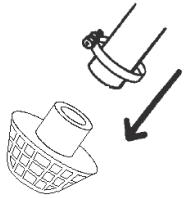


ストレーナの取り付けかた

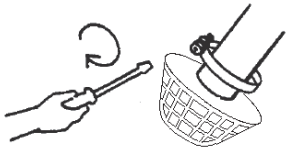
1 ホースバンドのねじをゆるめ、ホースに差し込んでください。



2 ストレーナの根元までホースを差し込みます。



3 ホースバンドでホースを締め付けます。

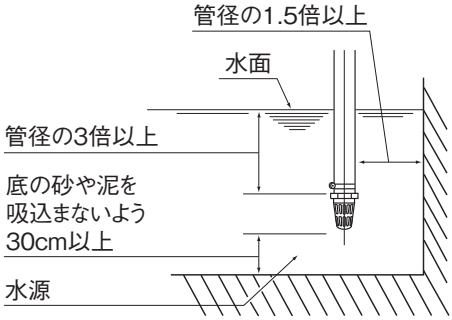


配管

●ポンプに吐出し配管・吸込み配管の重量がかからないようにしてください。
●配管はエンジン等に触れないようにしっかり固定してください。

吸込配管

1. できるだけ短く曲がりを少なくしてください。吸込管の水平部はポンプに向かって上り勾配にして、接続部は空気を吸わないようにしてください。
2. 吸込管の先端には必ずストレーナを取り付けてください。ごみなどが集まる水源にご使用の場合は、ストレーナの周りに「ごみよけ」を設けてください。



3. 吸込管の先端は管径の 3 倍以上沈め、底からは 30cm 以上はなしてください。また側壁からも管径の 1.5 倍以上はなしてください。

吐出し配管

できるだけ短く曲がりを少なくしてください。
(吐出し配管が長くなると自吸時間が長くなりますので、先端は空気中に出すか、吐出し口の近くに空気抜き弁を設けてください。)

運転のしかた

⚠ 警告

●エンジンの取り扱いや操作は、エンジンの取扱説明書をよく読むこと
誤った取り扱いや操作をすると、ケガ・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意 空運転（水を入れずに運転すること）や吐出し弁を閉じたままでの運転はしないでください。

運転の前に

1. エンジンクランクケースにエンジンオイルを入れてください。
2. ケーシング内には水を入れてください。
3. リコイルスタータの始動ノブをゆっくり引き、軽く回るか確認してください。
4. ガソリンタンクにガソリンを入れてください。

手順

1. 注水口止栓をはずし、ケーシング内に水をいっぱいに入れ、注水口止栓をしめます。(吐出し弁等は空気が抜けやすいように少し開けます。)
2. エンジンを運転します。(エンジンの取扱説明書を読んでください。）ポンプが回り出してからしばらくすると揚水します。運転開始後７分程度経過しても揚水しない場合は、ケーシングの水が熱くなっていますので、エンジンを止めてドレンプラグ（バルブ）より水を抜いて新しい水を入れてください。この作業を繰り返しても揚水しないときは、ポンプに異常がないか、吸込配管から空気を吸っていないか、確認してください。

お願い

長期間使用しないときはケーシング内を水洗し、凍結防止のため水を抜いてください。

お手入れと点検

⚠ 警告

●掃除や点検をするときは、エンジンを止めること

運転中の掃除や点検は、やけどやケガの原因になります。

点検要領

■点検は 1 年に 1 回程度行ってください。
ポンプやホースから水漏れがないか、騒音や振動の異常がないかを確認してください。異常がありましたらエンジンを止め、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■エンジンの点検は、エンジンの取扱説明書に従ってください。

修理を依頼する前に

⚠ 警告

●修理技術者以外の人は分解したり修理や改造をしないこと

異常動作をしてケガをしたり、感電・火災の原因になります。

お願い

「故障かな？」と思ったら、まず次の内容をお調べください。**それでも具合の悪いときはエンジンを止めて、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。**
販売店へ連絡するときは、ポンプ銘板に記載の形式・製造番号、お買い上げ年月日と故障状況をお知らせください。

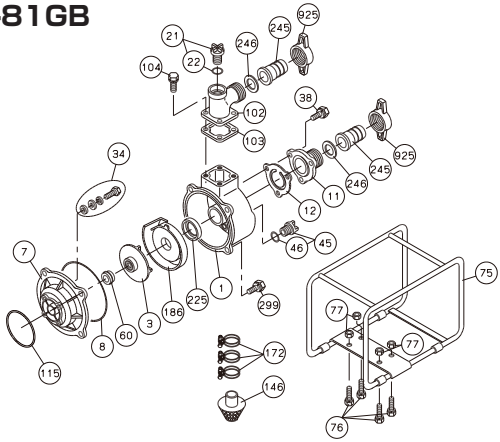
故障状態	故障原因	対策・処置
ポンプが回らない	エンジンの故障	販売店に相談する
	羽根車にごみかみこみ	
自吸しない	ポンプ設置位置が高い	位置を低くする
	空気を吸っている	吸込管を点検する
	呼び水が少ない	ケーシングに補水する
	水路のつまり	ストレーナ・配管を点検する
	吸込みホースが変形している	硬質の管に交換する
	回転速度の低下	正規回転速度で回す
	吐出し弁・空気抜き弁が閉じている	弁を開ける
	吐出し配管の先端が水中に入っている	吐出し配管の先端を空気中に出す
吐出し量が少ない	羽根車の摩耗	販売店に相談する
	空気を吸っている	吸込配管、水位を点検する
	ごみのつまり	販売店に相談する
	回転速度の低下	正規回転速度で回す
振動・騒音が大きい	吸上げ高さが高い	設置位置を低くする
	ごみのつまり	販売店に相談する

仕様

	ポンプ			エンジン				質量 kg
形式	口径 mm	最大吐出し量 m^3/min	最高全揚程 m	機関名称	出力 常用 kW min^{-1}	使用燃料	始動方式	
ER-51GB	50	0.55	30	空冷4サイクルガソリンエンジン	3.4 / 3600	無鉛ガソリン	リコイルスタータ	28.0
ER-81GB	80	1.00	28	空冷4サイクルガソリンエンジン	3.4 / 3600	無鉛ガソリン	リコイルスタータ	31.2
EMH-40GB	40	0.30	45	空冷4サイクルガソリンエンジン	3.4 / 3600	無鉛ガソリン	リコイルスタータ	29.7
EMH-50GB	50	0.40	50	空冷4サイクルガソリンエンジン	3.4 / 3600	無鉛ガソリン	リコイルスタータ	28.5

構造図と部品名称

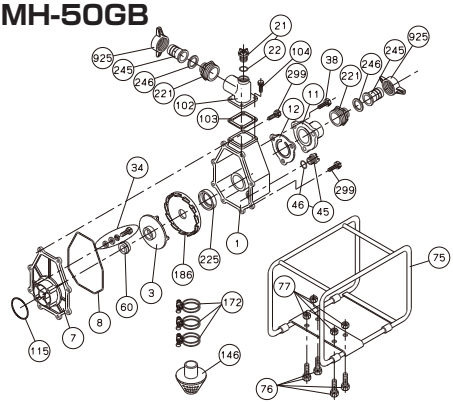
ER-51GB・ER-81GB



品番	品　名	個数	ER-51GB	ER-81GB
			部品No.	部品No.
1	ケーシング	1	200 200 120	200 200 200
3	羽根車	1	200 210 110	200 210 180
7	ケーシングカバー	1	200 200 770	200 200 770
8	ケーシングパッキン	1	200 800 180	200 800 180
11	吸水口	1	200 200 230	200 200 270
12	吸水弁	1	200 900 120	200 900 110
21	吸水口止栓	1	200 500 040	200 500 040
22	吸水口止栓パッキン	1	200 800 020	200 800 020
34	ボルトAssy（ケーシングカバー取付）	4	203 000 101	203 000 101
38	ボルト（吸水口取付）	3	203 000 041	203 000 820
45	ドレンプラグ	1	200 500 040	200 500 040
46	ドレンプラグパッキン	1	200 800 020	200 800 020
60	メカニカルシール	1	201 100 031	201 100 031
75	ベース	1	200 101 770	200 101 770
76	ボルト（ベース取付）	4	203 000 790	203 000 790
77	ナット（ベース取付）	4	203 200 100	203 200 100
102	吐出し口	1	200 200 240	200 200 260
103	吐出し口パッキン	1	200 900 170	200 900 190
104	ボルト（吐出口取付）	4	203 000 041	203 000 810
146	ストレーナ	1	201 200 030	201 200 050
172	ホースバンド	3	201 000 040	201 000 060
186	内部ケーシング	1	200 210 010	200 210 020
225	内部ケーシングパッキン	1	200 900 240	200 900 180
245	ホースカップリング用竹の子	2	200 500 090	200 500 100
246	ホースカップリングパッキン	2	200 900 050	200 900 060
299	ボルト（ケーシング取付）	4	203 000 800	203 000 800
925	ホースカップリング用ナット	2	200 500 070	200 200 250
115	エンジン	1	-	-

構造図と部品名称

EMH-40GB・EMH-50GB



品番	品　名	個数	EMH-40GB	EMH-50GB
			部品No.	部品No.
1	ケーシング	1	200 200 130	200 200 130
3	羽根車	1	200 210 830	200 210 190
7	ケーシングカバー	1	200 201 040	200 201 040
8	ケーシングパッキン	1	200 900 350	200 900 350
11	吸水口	1	200 200 540	200 200 230
12	吸水弁	1	200 900 120	200 900 120
21	吸水口止栓	1	200 500 040	200 500 040
22	吸水口止栓パッキン	1	200 800 020	200 800 020
34	ボルトAssy（ケーシングカバー取付）	4	203 000 101	203 000 101
38	ボルト（吸水口取付）	3	203 000 041	203 000 041
45	ドレンプラグ	1	200 500 040	200 500 040
46	ドレンプラグパッキン	1	200 800 020	200 800 020
60	メカニカルシール	1	201 100 031	201 100 031
75	ベース	1	201 100 050	201 100 050
76	ボルト（ベース取付）	4	203 000 790	203 000 790
77	ナット（ベース取付）	4	203 200 100	203 200 100
102	吐出し口	1	200 200 610	200 200 240
103	吐出し口パッキン	1	200 900 170	200 900 170
104	ボルト（吐出口取付）	4	203 000 041	203 000 041
146	ストレーナ	1	201 200 020	201 200 030
172	ホースバンド	3	201 000 030	201 000 040
186	内部ケーシング	1	200 210 400	200 210 400
221	ニップル	2	200 500 240	-
225	内部ケーシングパッキン	1	200 900 240	200 900 240
245	ホースカップリング用竹の子	2	200 500 140	200 500 090
246	ホースカップリングパッキン	2	200 900 040	200 900 050
299	ボルト（ケーシング取付）	8	203 000 041	203 000 041
925	ホースカップリング用ナット	2	200 500 150	200 500 070
115	エンジン	1	-	-

営業所一覧表

アフターサービスはお買い求めの販売店へ

●	東京支社	〒116−0002　東京都荒川区荒川1−49−1　荒川第10秦ビル2F TEL 03−3803−1161㈹　FAX 03−3803−1162
	神奈川営業所	〒252−0134　神奈川県相模原市緑区下九沢2125−1−101 TEL 042−774−3670㈹　FAX 042−774−3671
	北関東営業所	〒360−0015　埼玉県熊谷市肥塚2丁目7番28 TEL 048−523−2654㈹　FAX 048−525−5216
	仙台営業所	〒984−0011　宮城県仙台市若林区六丁の目西町3−33 TEL 022−287−0231㈹　FAX 022−287−0235
	新潟営業所	〒950−0948　新潟県新潟市中央区女池南1丁目5番16号 TEL 025−284−0011㈹　FAX 025−284−1212
●	名古屋営業所	〒457−0004　愛知県名古屋市南区中江2丁目2番9号 TEL 052−819−0188㈹　FAX 052−819−0180
	静岡営業所	〒420−0884　静岡県静岡市葵区大岩本町26-32　ﾊﾟｰｸｻｲﾄﾞ城北1F−C TEL 054−200−1002㈹　FAX 054−200−1003
●	大阪支社	〒540−0011　大阪府大阪市中央区農人橋二丁目1番30号 谷町八木ビル9F TEL 06−6940−1177㈹　FAX 06−6940−1178
	岡山営業所	〒700−0971　岡山県岡山市北区野田三丁目9−10−2　岡崎事務所1F東 TEL 086−245−4497㈹　FAX 086−245−7246
	高松営業所	〒761−8078　香川県高松市仏生山町甲836番地1ｶﾞｰﾃﾞﾝﾊｲﾂﾋﾟｭｱ101号 TEL 087−888−5118㈹　FAX 087−888−5119
●	福岡営業所	〒812−0016　福岡県福岡市博多区博多駅南3−10−23 第5西田ビル2F−E TEL 092−411−7555㈹　FAX 092−411−7585
	広島営業所	〒733−0861　広島県広島市西区草津東1丁目1−6 第3松本ビル1F TEL 082−271−6505㈹　FAX 082−271−6506

■ お電話でのお問い合せ　月～金　9:00～12:00　13:00～17:00　（土、日、祝日、大型連休を除く）

株式会社 寺田ポンプ製作所

〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町3番17号

TEL 0745-52-5101(代)　FAX 0745-23-0013

E-mail:info@teradapump.co.jp

http://www.teradapump.co.jp/

S2022.9